



第13号  
発行 鹿兒島県建築協会  
青年部会  
鹿兒島市城山町2-13  
TEL (099) 224-5220

ごあいさつ



青年部会長

林 正 英

平成十六年、十七年度の青年部会長を仰せつかりました林でございます。

青年部会は内村文泰氏、川井田哲氏、深野木信氏、福永弘一氏と部長を引継がれそれぞれ強力な個性とリーダーシップを発揮されて会をここまで成長させて下さいました。改めて、真剣にこれまで活動に取り組んでこられたその姿勢に敬意を表します。

現在、政治は公共投資に頼らない民需主導の景気回復を目指し、公共工事の削減を続けています。その為、多様な入札契約制度を設け、PFI

を導入、独占禁止法の強化を行い業者数を少なくする施策を鮮明に打ち出して

います。これらの策は否応なしに速いペースで定着していきます。私達青年部会は新進気鋭の若手経営者であることを自覚し、この流れを敏感に察知しダイナミックに対応しよう者の集まりであると思っています。

堀ノ内総務委員長が他に類を見ないアグレッシブな委員会にしてくれそうですし、牧迫会員研修委員長は会員の問題解決策の一端になればいいとの思いで奔走され、益田活動委員長は委員会内のコミュニケーションをしっかりとって目標に向かって協議を重ねていらっしゃいます。原田委員長率いるIT委員会の目的は、より応用的な情報の共有化と情報発信を行う事で、その手段として協会のHP構築も行います。

つねに成長をしている人(会社)は、いつもなにかしらの困難に直面しているはずで、それは、その人(会社)がいつでも新しいことに挑戦しているからだと思います。成長

する人(会社)は、けっして順調なところに安住しません。自分の可能性を広げるための挑戦ができるか否か、これが分かれ道だと思います。先輩からは「青年部会は楽しく、明るい会にしたい」と言われ、自身、最初から困難に直面しています。理事会、委員会、それと各事業活動においても、「参加してよかった」、「面白い話が聞けたな」と思っていることが、大事だと思っています。大いに青年部活動を愉しんでいきましょう。

総務委員会



総務委員長

堀ノ内 茂樹

この度、平成十六年度と十七年度の総務委員長を仰せつかりま

した堀ノ内茂樹であります。

今年度の活動内容は、定時総会の運営、会報二〇〇誌と協会だより、また会員手帳の作成等です。特に会員手帳に関しましては、従来アナログの形で作成していたものを、協会内のIT化の更なる推進を目標に掲げ、協会のグループウェアでありまたインターネット上に掲載する事と致しました。時代の流れに敏感に対応し、会員の皆様に色々な情報を提供出来れば幸いです。また、年一回行われます定時総会と青年部会レクリエーションに於きましても、スムーズな運営、また会員間の更なる団結を図る場を提供する事を目標に、様々な工夫をこらして頑張っていきたいと考えます。

これまで、先輩方が培ってこられ





定 時 総 会



た事を忠実に引き継ぎ、また新しい風を吹かすべく役割を果たせられる様、そして協会の更なる発展に微力ながら寄与出来ればと考えております。

最後に、二年間という限られた期間ではありますが、今後とも皆様の多大なるご協力とご鞭撻を賜りますようこの場をかりてお願い申し上げます、就任の挨拶とさせていただきます。

## 会員研修委員会



会員研修委員長  
牧 迫 英 敏

今年度より会員研修委員会の委員長を務めることになりました。

微力ではありますが、二年間お役に立てればと思います。

当委員会は、永江副部会長のもと、月一回の委員会を開き、すでに動き出しているところです。現場見学会、技術講習会、経営者講習会の三つを柱に事業を進めて参ります。

第一に現場見学会と技術講習会は、坂本建設・丸和建設・三和建設JVのご協力をいただき「鹿児島島南警察署新築工事」現場のPCC梁、外壁のMCR工法の技術説明のあと現場見学を実施いたしました。

第二に経営者講習会では、PFI事業の講習会を予定しています。PFIとは従来、行政が行ってきた公共施設の建設・運営・維持管理を民間の資金・経営・技術力を活用し効率的に行おうとする手法で、すでに県内でも導入・実施され今後増える

傾向にあります。これらを学ぶことで地元での地域特性を生かしたPFI事業の実例と課題、今後の展望について理解できればと思っています。

最近の短期間での変化の激しい社会環境の中、将来に対する展望が不透明ではありますが、現状や将来を悲観することなく、希望をもって会員の相互信頼のもと情報を集集し、継続してチャレンジして行きたいと思っております。

最後に多くの皆様の参加が得られるような事業を委員の方々の協力を得ながら進めて行きたいと思っております。ご意見、ご指導、ご協力よろしく申し上げます。



現 場 見 学 会

## 活動委員長



活動委員長  
益田 啓一郎

このたび平成十六年七月の活動委員長に就任しました。

浅学非才の身ではございますが、建築業界の社会的責任を活動委員会を通して果たすべく努力してまいり所存でございます。

活動委員会の事業には「普通救命講習会」と「高齢者世帯等奉仕作業」の二つの柱があります。今年度は先輩方が過去に築いてきたすばらしい事業を継承しつつ、新たな事業を組み立て社会に奉仕還元できればと考えているところであります。

一つは、県内の工業高校の生徒さんを対象に何か建築のインプレッションを与えることができるような事業を考えています。斜陽化といわれる建築業界にこれから身を投じていかれる若者と未来を作り出していくウイジョンを一緒に共有したいと思います。今、地方の建築業界にとって厳し

さが、実感として感じられるようになって来ました。どうやって生き残ろうか?という処世術も大切でしょうが、自分たちは何のために仕事を考えるのか?というような生甲斐を考えてみることも大切だと思っています。

建築協会の青年部で様々な事業に関わり、議論し、行動しながら、建築という生甲斐を模索していければと考えております。

どうぞ、これから二年間ご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

**I-T委員会**



I-T委員長  
**原田 義久**

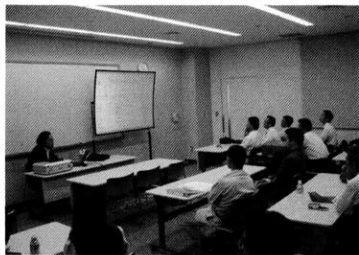
二年間  
I-T委員  
長を仰せ  
つかりま  
した、原  
田義久で  
す。I-T

委員会は本年度より正式に委員会として活動を行う事になりました。

建築とは「ハイテク」と言うより「ローテク」と言った方が正しい様な気がしており、自動車の様に工場

で作られるのではなく、職人さんの手につけた技術により作られる部分が多く残っている産業ではないでしょうか。「ハイテク」と「ローテク」をうまく結びつけながら利用することにより「より良い仕事」と「より効率的な仕事」につなげ、これから生き残って行く為にI-Tは必要不可欠だと思っています。

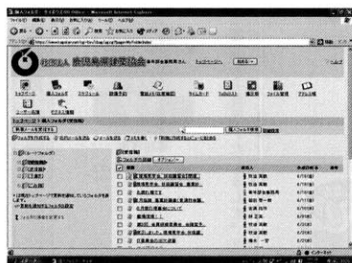
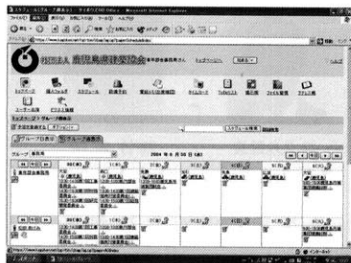
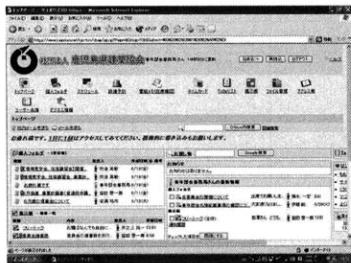
今建築協会は、サイボウズ社の「Office6」を活用しています。「Office6」とはイントラネットを行うソフトです。会員で情報の共有化を行い、コミュニケーションにも活用していきます。会員の利用向上の為



I-T (公開) 委員会

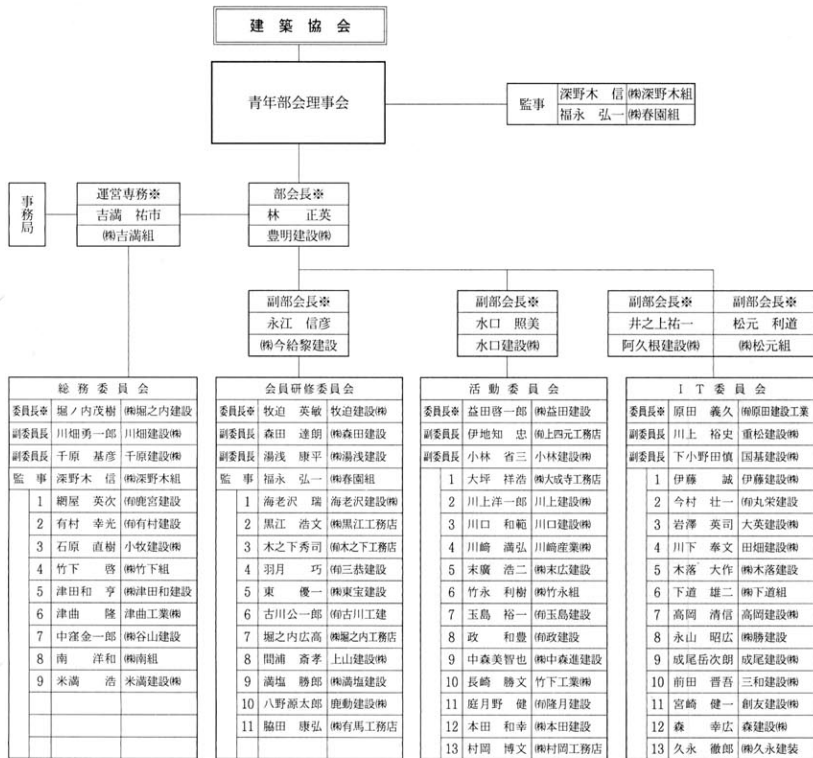
に会員サポート組織等も作成し、本年度からは鹿児島県建築協会のホームページも開設する予定です。I-T委員会としては、手探りながらI-Tに関する事業を、一生懸命行いつもりです。

最後にはなりますが、会員の皆様イントラネットの閲覧と書き込みを宜しくお願いします。二日に一度は、イントラネットの確認を目標にがんばって下さい。



平成16~17年度 社団法人鹿児島県建築協会青年部会 組織図

※印は青年部会理事



四月から就任いたしました。これからよろしくお願ひします。



専務理事  
池添 宏

事務局より

よろしくお願ひします。



柳久永建築  
鹿児島市東町  
5番地  
久永 徹郎



柳竹永組  
曾於郡志布志町志布志  
三丁目15番7号  
竹永利樹

新入会員紹介

